

# HYTI

2025/12/31

## FT Vest ハイールド債&ターゲットインカムETF

### » ファンドの目的

この上場投資信託 (ETF) は、インカム収益の獲得を第一としてキャピタルゲインも追求することを旨とします。

### » ファンド概要

ファンドティッカー	HYTI
CUSIP	33738D739
ISIN	US33738D7396
ファンド設定日	2025/2/12
総経費率	0.65%
主要取引所	NYSE Arca

### » ファンド詳細

- 当ファンドは、通常の市場環境下において、米国債に投資し、iシェアーズ iBoxx ハイールド社債ETF (「原資産ETF」) のフレキシブル・エクステンジ・オプション (「FLEXオプション」) を含む米国上場コールオプションの購入と売却によって構成される「オプション戦略」を活用することにより、投資目的を追求します。
- 当ファンドは、原資産ETFへの合成エクスポージャーにFLEXオプションと米国債を使用し、原資産ETFの週次コール・オプションを売却することで追加収益を目指す戦略を活用します。
- 投資プロセスは2つの部分からなります：
  - インカムゲインの獲得 - 当ファンドは原資産ETFの年間収益利回りを約5.0% (手数料および費用控除前) 上回る年間収益水準を目標とします。また短期米国債のラダー型ポートフォリオを購入し、その収益は年間を通じて投資家に分配される見込みです。
  - 値上がりの可能性 - コールオプションの売却から得られるプレミアムとディープ・イン・ザ・マネー・コール・オプションの購入に伴うディスカウントを組み合わせた資本増価を基盤として、総収益の増加を目指すとともに、原資産ETFの成長性の一部への参加も継続します。
- 当ファンドは値上がりの可能性の一部を現行のインカム収益に転換することを目指します。
  - 当ファンドは各週、原資産ETFの合成エクスポージャーにおけるFLEXオプションのディスカウントとファンドの配当目標を比較し、その差額をコール・オプションの売却から得られるプレミアムで補うことを目指します。コール・オプションの売却で得られるプレミアムと、ディープ・イン・ザ・マネー・コール・オプションの購入によるディスカウントを組み合わせることによって、投資家の総収益を高めることを目指しつつ、原資産ETFの値上がりの可能性の一部にも継続して参加します。
- ファンドの配当目標が達成される保証はありません。当ファンドは、原資産ETFのトータル・リターンと比較して、特定レベルのトータル・リターンを達成しようとするものではありません。ファンドが保有する証券のキャピタルゲインは、原資産ETFのキャピタルゲインを下回る可能性があり、ファンドのトータル・リターンは、原資産ETFのトータル・リターンを下回る可能性があります。

### » ファンド・サブ・アドバイザー

- Vest Financial LLC (以下「Vest」) はファンドのサブ・アドバイザーであり、ファンドのポートフォリオを管理します。Vestは2012年に設立され、2016年に初めて市場に導入されたターゲット・アウトカム戦略®を採用した初の投資ファンドを運用しました。

### » パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
<b>ファンド・パフォーマンス*</b>							
基準価額 (NAV)	1.37	-	-	-	-	-	7.10
市場価格	1.22	-	-	-	-	-	7.20
<b>指数パフォーマンス**</b>							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	1.10	-	-	-	-	-	7.09
iBoxx® Liquid High Yield Index	1.48	-	-	-	-	-	7.48

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) から確認できます。

\*基準価額 (NAV) リターンは、ファンドの純資産 (資産から負債を差し引いたもの) をファンドの発行済み株数で割った基準価額 (NAV) に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額 (NAV) リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

\*\*掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

# FT Vest ハイイールド債 & ターゲットインカムETF

2025/12/31

## ▶ ポートフォリオ情報<sup>1</sup>

保有銘柄数	3
加重平均実効デュレーション <sup>2</sup>	2.68年
加重平均残存期間	3.30年
加重平均価格	\$98.80
オプション調整後スプレッド <sup>3</sup>	229 bps

## ▶ 信用格付別 (%)<sup>1,4</sup>

AAA	0.62
BBB-	1.98
BB+	15.23
BB	19.75
BB-	20.13
B+	13.29
B	12.14
B-	5.98
CCC+	4.83
CCC	2.56
CCC-	0.71
CC	0.04
D	0.05
Unassigned/NR	2.69

## ▶ 上位保有10銘柄 (%)

2026-01-30 iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF C 0.81	97.94
U.S. Treasury Bill, 0%, due 01/27/2026	0.63
2026-01-02 iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF C 80.60	-0.05

## ▶ ポートフォリオ・オプション情報<sup>5</sup>

月次平均のオプション・オーバーライト比率	38.06%
月次平均のアップサイド参加率	61.94%
ATMショートコールの平均満期	7日

## ▶ 業種別内訳 (%)<sup>1</sup>

Consumer Cyclical	17.94
Communications	15.81
Consumer Non-Cyclical	12.19
Energy	11.35
Capital Goods	9.60
Technology	8.40
Basic Industry	5.08
Finance Companies	4.38
Electric	4.01
Insurance	3.06

<sup>1</sup>保有銘柄数を除くすべてのデータは原資産ETFのもです。

<sup>2</sup>金利変動に対する債券の感応度を示す尺度で、利回りが変化した場合の債券価格の変化を反映します。

<sup>3</sup>固定利付証券の金利とリスクフリー・リターンとのスプレッドの測定値で、組み込みオプションを考慮して調整されます。

<sup>4</sup>格付は、S&Pグローバル・レーティングスによるものです。信用格付けは全米で認知されている統計格付機関（NRSRO）によって格付けされ、債務に関する発行体の信用力評価を表し、プライベートでのみ格付けされる債務を除きます。格付けは、通常、AAA（最高位）からD（最下位）までの範囲で評価されます。適格証券とは、長期信用格付けがBBB-以上の発行体です。「NR」は格付けなしを示します。表示されている格付けは、ファンドの原資産証券の発行者の信用力に関するものであり、ファンドまたはその株式に関するものではありません。信用格付けは変更される場合があります。格付は、S&Pグローバル・レーティングスによるものです。信用格付けは全米で認知されている統計格付機関（NRSRO）によって格付けされ、債務に関する発行体の信用力評価を表し、プライベートでのみ格付けされる債務を除きます。格付けは、通常、AAA（最高位）からD（最下位）までの範囲で評価されます。適格証券とは、長期信用格付けがBBB-以上の発行体です。「NR」は格付けなしを示します。表示されている格付けは、ファンドの原資産証券の発行者の信用力に関するものであり、ファンドまたはその株式に関するものではありません。信用格付けは変更される場合があります。

<sup>5</sup>月次平均オプション・オーバーライト比率は、各月のコール売却日において、ロングポジションに対するコールオプションの売却に使用される純資産価値の割合の平均値です。月次平均アップサイド参加率は、各月のコール売却日における原資産の価格リターンへの参加率の平均値です。ATM（アット・ザ・マネー）ショートコールの満期は、コール・オプションの満期日です。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、**First Trust Japan (www.ftportfolios.jp)** にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

## リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

ファンド株式の活発な取引市場が発展または維持されるという保証はありません。投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。ファンドによるコールオプションの使用には、通常のポートフォリオ証券取引とは異なるリスクが伴い、ファンドのポートフォリオマネージャーが市場の動きを正しく予測する能力に依存します。コールオプションの売り手（ライター）として、参照指数または証券の価値が行使価格を上回った場合、損失を被る傾向があります。コールオプションを売却するとき、ファンドはオプション保有者によるオプションの行使を制御することはできません（満期日にもみ行使できるヨーロピアンスタイルのオプションとは対照的です）。ファンドがオプションを決済するために証券を売却する必要がある場合があり、それは資本のリターンを構成し、ファンドを他のETFよりも税効率が悪くなる可能性があります。また、オプションにはレバレッジの使用が含まれる場合があり、その結果、他の市場よりも価格の変動が大きくなる可能性があります。設定と償還の全部または一部を現物ではなく現金に換えるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

ファンドは、カウンターパーティがその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な経済的損失が生じる可能性があります。現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落する

リスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリュエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

ファンドは通常、収益を分配金として支払うため、収益が不十分な場合、ファンドは分配金の減額を必要とされる場合があります。さらに、通常であれば売却しない証券をファンドが売却する必要がある場合があり、その売却による分配金が資本のリターンに該当する可能性があります。このためファンドの元本投資が時間経過とともに減少することを望まない投資家、または特定期間には資本のリターンを受け取りたくない投資家にとって適切な投資ではない可能性があります。

FLEXオプションの取引には、証券に直接投資することに関連するリスクとは異なる、または場合によってはそれ以上のリスクが伴います。原資産ファンドは、特定のFLEXオプションのポジションから大幅な下落を経験する可能性があり、特定のFLEXオプションのポジションは無価値で期限切れになる可能性があります。FLEXオプションには流動性のある流通取引市場が存在するという保証はなく、FLEXオプションは取引所取引オプションよりも流動性が低い可能性があります。

次ページにて追加リスクをご覧ください。

## リスクに関する考慮事項（続き）

FLEXオプションには相関リスクがあり、FLEXオプションの価値は変動が激しく、短期間で大幅に変動する可能性があります。FLEXオプションは、満期日にのみ行使価格で行使することができます。満期日前に、FLEXオプションの価値は、市場相場またはその他の認識された価格設定方法に基づいて決定されます。ファンドの保有に関する市場相場がすぐに入手できない場合、ファンドのアドバイザーが保有の公正価値を決定する可能性があります。これにはアドバイザーの判断が必要であり、ミスプライシングや不適切な評価のリスクがあります。

ハイールド債、または「ジャンク債」は、格付けの高い証券よりも流動性が低く、市場の変動や損失リスクが大きいため、投機的と考えられています。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレの進行によりファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

レバレッジによって当初の投資額を超える損失の発生や、また損失率も加速する可能性があります。レバレッジは資産または資産クラスに対するファンドのエクスポージャーの増減の影響を、場合によって大幅に拡大する傾向があるため、ファンドの株式価値が変動し、市場の変動に敏感になる可能性があります。

特定のファンド投資は、転売、店頭取引、または取引量に限定がある場合、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があります。市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメイカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

大規模な資金流入と流出は、新規ファンドの市場エクスポージャーに一定期間、影響を与える可能性があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する場合があります。その結果、ファンドは、これらの発行体の1つまたは複数に影響を与える単一の経済的または規制上の不利な事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体に高く集中する可能性があります。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時期にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

ポートフォリオの回転率が高いと、取引コストが高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

ファンドが課税年度においてRICとして適格ではなく、特定の救済規定が利用できなかった場合、ファンドの課税所得はファンドレベルで課税され、そのような所得が分配される際に株主レベルでさらに課税されます。さらに、ファンドへの投資の種類に基づいて、ファンドに他の税務上の影響がある場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

ETFを参照するFLEXオプションに投資するファンドは、ETFの株式を所有するリスクと、参照ETFが投資する商品の種類のリスクの影響を受けます。

連邦政府機関および米国政府後援機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性が保有する証券やその他の資産があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却、またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したりものではありません。ファースト・トラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

## 定義

iBoxx® Liquid High Yield Index は、米ドル建てハイールド社債市場のバランスを取るために選定された流動性の高い米ドル建てハイールド債券で構成されています。Bloomberg US Aggregate Bond Index は、投資適格の米ドル建て固定利付課税債券市場を対象としており、国債、政府関連債、社債、MBS（不動産担保証券）、ABS（資産担保証券）、CMBS（商業用不動産担保証券）が含まれます。オプションとは、買い手と売り手の間の契約上の義務です。「コール」と「プット」と呼ばれる2種類のオプションがあります。コールオプションの買い手は、オプションのライター（売り手）から、一定の期間内（オプションの満了まで）に所定の価格（行使価格）で原資産の合意数量を購入する権利がありますが、義務ではありません。これにより、ロングポジションが作成されます。

### >> Fund Objective

This exchange-traded fund seeks to provide investors with current income with a secondary objective of providing capital appreciation.

### >> Fund Facts

Fund Ticker	HYTI
CUSIP	33738D739
ISIN	US33738D7396
Fund Inception Date	12/2/25
Total Expense Ratio	0.65%
Primary Listing	NYSE Arca

### >> Fund Description

- >> Under normal market conditions, the FT Vest High Yield & Target Income ETF (the “fund”) will pursue its investment objectives by investing in U.S. Treasury securities and utilizing an option strategy consisting of purchasing and writing (selling) U.S. exchange-traded call options, including Flexible Exchange options (“FLEX Options”), on the iShares iBoxx High Yield Corporate Bond ETF (“Underlying ETF”).
- >> The fund’s strategy uses FLEX Options and treasuries for synthetic exposure to the Underlying ETF and seeks to generate additional income by selling weekly call options on the Underlying ETF.
- >> The investment process consists of two parts:
  - Income Potential – The fund targets an annual income level of approximately 5.0% (before fees and expenses) over the Underlying ETF annual income yield. The fund will also purchase a laddered portfolio of short-term U.S. Treasury securities, the income of which is anticipated to be distributed to investors throughout the year.
  - Growth Potential – Capital appreciation based on combining premiums collected from the sale of call options with the discount from the purchased deep in-the-money call options, the fund seeks to increase total income while still participating in some of the growth potential from the Underlying ETF.
- >> The fund will seek to convert a portion of the growth potential of the fund into current income.
  - Each week, the fund compares the FLEX Option Discount on the synthetic exposure to the Underlying ETF against the fund’s distribution target and looks to bridge that difference with the premiums that come from selling call options. By combining premiums collected from the sale of call options with the discount from the purchased deep in-the-money call options, the fund seeks to increase total income for investors while still participating in some of the growth potential from the Underlying ETF.
- >> There is no guarantee that the fund’s distribution target will be achieved. The fund does not seek to achieve any specific level of total return performance compared with the total return performance of the Underlying ETF. Capital appreciation on the securities held by the fund may be less than the capital appreciation of the Underlying ETF, and the total return performance of the fund may be less than the total return performance of the Underlying ETF.

### >> Fund Sub-Advisor

- >> Vest Financial LLC (“Vest”) is the sub-advisor to the fund and will manage the fund’s portfolio.
  - Vest was founded in 2012 and managed the first investment funds to use a Target Outcome Investments® strategy which were first introduced to the market in 2016.

### >> Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
<b>Fund Performance*</b>							
Net Asset Value (NAV)	1.37	—	—	—	—	—	7.10
Market Price	1.22	—	—	—	—	—	7.20
<b>Index Performance**</b>							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	1.10	—	—	—	—	—	7.09
iBoxx® Liquid High Yield Index	1.48	—	—	—	—	—	7.48

*Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp).*

\*NAV returns are based on the fund’s net asset value which represents the fund’s net assets (assets less liabilities) divided by the fund’s outstanding shares. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price (“NBBO”) as of the time that the fund’s NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

\*\*Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

## » Portfolio Information<sup>1</sup>

Number Of Holdings	3
Weighted Average Effective Duration <sup>2</sup>	2.68 Years
Weighted Average Maturity	3.30 Years
Weighted Average Price	\$98.80
Option-Adjusted Spread <sup>3</sup>	229 bps

## » Credit Quality (%)<sup>1, 4</sup>

AAA	0.62
BBB-	1.98
BB+	15.23
BB	19.75
BB-	20.13
B+	13.29
B	12.14
B-	5.98
CCC+	4.83
CCC	2.56
CCC-	0.71
CC	0.04
D	0.05
Unassigned/NR	2.69

## » Top Holdings (%)

2026-01-30 iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF C 0.81	97.94
U.S. Treasury Bill, 0%, due 01/27/2026	0.63
2026-01-02 iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF C 80.60	-0.05

## » Portfolio Options Information<sup>5</sup>

Average Monthly Option Overwrite %	38.06%
Average Monthly Upside Participation %	61.94%
Average ATM Short Call Maturity	7 Days

## » Top Industry Exposure (%)<sup>1</sup>

Consumer Cyclical	17.94
Communications	15.81
Consumer Non-Cyclical	12.19
Energy	11.35
Capital Goods	9.60
Technology	8.40
Basic Industry	5.08
Finance Companies	4.38
Electric	4.01
Insurance	3.06

<sup>1</sup>All data is for the Underlying ETF, except Number of Holdings.

<sup>2</sup>A measure of a bond's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a bond's price given a change in yield.

<sup>3</sup>A measurement of the spread of a fixed-income security rate and the risk-free rate of return, which is adjusted to take into account an embedded option.

<sup>4</sup>The ratings are by S&P Global Ratings. A credit rating is an assessment provided by a nationally recognized statistical rating organization (NRSRO) of the creditworthiness of an issuer with respect to debt obligations except for those debt obligations that are only privately rated. Ratings are measured on a scale that generally ranges from AAA (highest) to D (lowest). Investment grade is defined as those issuers that have a long-term credit rating of BBB- or higher. "NR" indicates no rating. The credit ratings shown relate to the creditworthiness of the issuers of the underlying securities in the Fund, and not to the Fund or its shares. Credit ratings are subject to change.

<sup>5</sup>**Average Monthly Option Overwrite %** is the prior calendar month average percentage of the net asset value used for writing of call options against a long position at each monthly call selling date. **Average Monthly Upside Participation %** is the prior calendar month average percentage of participation in the price returns of the underlying instrument at each monthly call selling date. **Average ATM (At the Money) Short Call Maturity** reflect the expiration date of the call options written.

*You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan at [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.*

## Risk Considerations

**You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.**

There can be no assurance that an active trading market for fund shares will develop or be maintained.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

A fund's use of call options involves risks different from those associated with ordinary portfolio securities transactions and depends on the ability of a fund's portfolio managers to forecast market movements correctly. As the seller (writer) of a call option, a fund will tend to lose money if the value of the reference index or security rises above the strike price. When writing a call option, a fund will have no control over the exercise of the option by the option holder and the American style options sold by a fund may be exercised at any time before the option expiration date (as opposed to the European style options which may be exercised only on the expiration date). There may be times a fund needs to sell securities in order to settle the options, which may constitute a return of capital and make a fund less tax-efficient than other ETFs. Options may also involve the use of leverage, which could result in greater price volatility than other markets.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

A fund normally pays its income as distributions and therefore, a fund may be required to reduce its distributions if it has insufficient income. Additionally at times, a fund may need to sell securities when it would not otherwise do so and could cause distributions from that sale to constitute return of capital. Because of this, a fund may not be an appropriate investment for investors who do not want their principal investment in a fund to decrease over time or who do not wish to receive return of capital in a given period.

Trading FLEX Options involves risks different from, or possibly greater than, the risks associated with investing directly in securities. A fund may experience substantial downside from specific FLEX Option positions and certain FLEX Option positions may expire worthless. There can be no guarantee that a liquid secondary trading market will exist for the FLEX Options and FLEX options may be less liquid than exchange-traded options.

Please see additional risks on the following page.

## Risk Considerations (continued)

FLEX Options are subject to correlation risk and a FLEX Option's value may be highly volatile, and may fluctuate substantially during a short period of time. FLEX Options will be exercisable at the strike price only on their expiration date. Prior to the expiration date, the value of the FLEX Options will be determined based upon market quotations or other recognized pricing methods. In the absence of readily available market quotations for fund holdings, a fund's advisor may determine the fair value of the holding, which requires the advisor's judgement and is subject to the risk of mispricing or improper valuation.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Large inflows and outflows may impact a new fund's market exposure for limited periods of time.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

If a fund does not qualify as a RIC for any taxable year and certain relief provisions were not available, a fund's taxable income would be subject to tax at the fund level and to a further tax at the shareholder level when such income is distributed. Further, there may be other tax implications to a fund based on the type of investments in a fund.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

A fund that invests in FLEX Options that reference an ETF is subject to certain of the risks of owning shares of an ETF as well as the risks of the types of instruments in which the reference ETF invests.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

## Definitions

The iBoxx® **Liquid High Yield Index** consists of liquid USD high yield bonds, selected to provide a balanced representation of the USD high yield corporate bond universe. The **Bloomberg US Aggregate Bond Index** covers the investment-grade, U.S. dollar-denominated, fixed-rate taxable bond market, including Treasuries, government-related and corporate securities, MBS, ABS, and CMBS. An **option** is a contractual obligation between a buyer and a seller. There are two types of options known as "calls" and "puts." The buyer of a call option has the right, but not the obligation, to purchase an agreed upon quantity of an underlying asset from the writer (seller) of the option at a predetermined price (the strike price) within a certain window of time (until the option's expiration), creating a long position.

## ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではなく、記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026022703

---

**Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）**

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会  
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）  
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp